

● 『ゼロからの論証』 (青土社, 2006年7月刊) ●

目次は以下のとおり。

(各 Stage は、専門性の度合による大まかな区分。——レベルアップ形式)

◆プロローグ

Stage 1

★3000年誘致計画

(初出:「朝日新聞」00年1月3日、4枚)

Stage 2

★身体交換とフェミニズム

(『早稲田文学』96年4月号、7枚)

★女の惨死——フィクションと現実の断層から

(『八事』04年20号、10枚)

★他者、言語、制度——SF的想像力と言語規制

(鶴田欣也編『日本文学における〈他者〉』新曜社、1994年)

Stage 3

★シミュレーションが現実を虚構色に染め上げる(比喩ではない!)

(『岩波講座 文学8』月報、7枚)

★可能世界とシミュレーション・ゲーム——オメガ点理論の人間原理的解釈

(『大航海』02年42号、20枚)

★ファンタジーとしての〈私の宇宙〉——虚構の美的選択、自己の観測選択

(『大航海』03年49号、30枚)

★虚構 fiction

(『事典 哲学の木』講談社、2002年3月刊)

Stage 4

★ニュートン・アインシュタインをダーウィン化する

(『現代思想』「宇宙論との対話」、63枚)

★自然選択説が選択する、不自然な自然選択

(『現代思想』「ポストゲノムの進化論」、55枚)

Stage 5

★観測選択効果と多宇宙説

(『科学哲学』03年7月、30枚)

★人間原理的推論における「この宇宙」

(『科学基礎論研究』05年3月、36枚)

★宇宙論における人間原理に関する自然哲学的研究

(文科省科研報告書、74枚、大幅に加筆訂正)

◆エピローグ